

<役員より>

- (1) 先日のセンター休み時間中、トイレ内で子供同士の行きすぎたやりとりがあった旨、保護者より報告がありました。子供達の行動については、保護者全員で見守って頂けるよう、お願いします。
- (2) アンケートは、101名の方から回答がありました。ご協力いただきありがとうございました。

① ベビーシッター係の新設について

回答いただいた大多数(68名)の方が、係の新設に前向きな回答であった。また34名が来年度ベビーシッター係をやっても良い、27名が人数が足りなければやっても良い、と回答していることから、係の新設に対して必要な人材は確保できそうである。空き教室の利用に関しても、賛成が大多数(95名)であった。子供の受け入れに関して依頼主と契約を結ぶべきか、の間に関しては「契約を結んだ方が良い」の回答が大多数(91名)であった。子供の受け入れに際して、アレルギー対応や子供の好みなどの記載を契約の中に盛り込むことも考えられる。契約の詳細に関しては、係内で相談し、決めてもらうのが良いと考える。来年度、教員及び役員の預かり予定の子供の数は、最大で10名の予定。全員が毎回預けるとは限らないので、毎回5名程度を予想している。これまでの方法では対応しきれないことは確実なので、少なくとも来年度はベビーシッター係りを新設して、対応することにしたい。今後、預ける子供の数は変わると思うので、対応の仕方はその都度検討したい。

以上の説明の後、役員から「来年度ベビーシッター係りを新設する」結論が示された。保護者からさらに意見を募ったが異議はなく、「来年度ベビーシッター係を新設する」ことで合意した。

② 役員 T4A 発行及び手当について

現在、役員は約生徒2人分の年間授業料分(600ドル)をクレジットとして受け授業料と相殺している。アンケートに際して誤解があったようなので、「T4Aになったからといって謝礼金の額が増えるわけではない」旨、改めて説明があった。適当な謝礼金の額とT4Aの発行とは、別問題であることをご理解頂きたい。役員の仕事量の例として、週に8時間以上、土曜日の午後3-6時頃まで会議に費やすことがあった、また電話、メールのやりとりにかなりの時間がかかる旨、説明があった。多くの方にT4A発行に関して前向きな意見をいただいたので、(T4A発行を視野に入れ)役員は授業料を払うこととしたい。ただし実際の謝礼額や契約をどうするかなどについては、引き続き話を続けていきたい旨、役員より提案があり、保護者からも異論はなく合意した。

T4A 発行に関する集計結果の読み上げ（アンケート結果参照）、参考までに教員給与の内訳について（初年度 17 ドル/時間、2 年ごとに 1 時間あたり 1 ドルアップ+会議費年 2 回+行事に伴う勤務時間延長分+場合によってはボーナス）、アシスタントは日給 17 ドルが支払われている旨、説明があった。

T4A を発行することになった場合、役員とセンターとの間で新たな契約書の作成が必要になると思われる。その場合、過去に教員の契約書作成を依頼した弁護士には現在連絡がとれないため、今後雇う会計士から意見を聞きながら、すでにある教員との契約書をベースに作成したいと役員側は考えている。この点について、保護者より、教員との契約書とは内容についてかなり変更する必要があるのではないか、など危惧される点が指摘された。役員からは、現時点で教員契約書を作成した弁護士と連絡がとれないので、次年度会計士と相談の上話を進めたい、また保護者の中に弁護士の資格をお持ちの方など、契約書の作成に明るい方がいらしたら、是非お力をいただきたいと要請があった。

役員候補者のモチベーションを高めるためにどうしたらよいか？

この質問に対するアンケート結果について、数字が読み上げられた（アンケート結果参照）。体制を変え、小さいグループの代表を作ることで、みんなの意見をくみ取りやすくなるのではないか、という意見が多かった点をふまえ、今後も考えていきたい。

（保護者からの質問）

T4A にすると、センターが現謝礼金額と同じ額（600 ドル）を役員に払ったとしても、役員は収入に応じて税金を払うことになり、手取りの額は減る（600 ドル-tax）と言うことか？

（役員側答え）

理屈の上では、その通り。ただし、実際にセンターが払う謝礼金の額をいくりにするか（税金分を考慮するしないも含めて）は、今後の話し合い次第であり、今話合う問題ではないと考えている。実際には、税金が引かれる反面、領収書を貰えるので、謝礼金の約 15%（ほぼ税金と同額）が税金のクレジットとして返金され、ほぼ相殺される形になる。また経費を計上すれば謝礼金全額に税金がかからなくなる点にも留意するべきである。理屈の上では、税金という支出が増えるが、これは社会の義務でもあり、この点については将来、監査で指摘される可能性も考慮すべきである。

③ウェブ機能向上について

アンケートの結果、ウェブ機能を向上することで、「便利になる」とする意見が大多数を占めた。ただし、セキュリティやメンテナンスをどうするのか、多額のお金に見合うだけのサービスが得られるのか、便利になるとは限らないのでは、という懐疑的な意見も多くあった。（アンケート結果参照）。

ウェブ開発に普通預金の 2 万ドルを使用するかどうかについては、賛成票（79 名）が多かったが、提示した見積もり 2 万 5 千ドルは高すぎるのでは、あるいは料金が妥当なのかかわからない、という意見もあった。役員からは、提示した 2 万 5 千ドルの見積もり

があまり正確な数字ではなかったとの説明があり、アンケート結果から保護者の関心は高いようなので、今後より正確な計画や見積もり、問題に対する解決策を提示した上で、ウェブ開発に実際に着手するか否かを決めていくことで合意した。

保護者からは、便利になる部分と、失う部分があることを良く吟味した方がいいのではないかと、注意深く進めてほしい、という意見があがった。

(保護者からの質問) 普通預金の3万ドルとはどのような性質のお金か? 最近使い道について保護者に問い合わせがあった余剰金5千ドルを含むのか?

(役員答え) 過去の余剰金の総額が昨年12月時点、普通預金として約3万7千ドルあるということ。この中に最近使い道について意見を募った2012年頃からの余剰金5千ドルも含まれる。また、この中から毎年教室賃貸の前払いに必要な1万ドルを確保している。これとは別に約3万ドルの定期預金もあり、不測の事態にも対応できるようにしている。

(保護者質問) お金の支払い(授業料など)にPay-palなどを使ってはどうか。

(役員答え) Pay-pal または既存の銀行のシステムの導入も視野に入れている。

(保護者意見) グーグルフォームなどは、アンケートの集計に役に立つかもしれない。

④会計から、余剰金5千ドルの使い道についての報告

前回の朝の会で、余剰金5千ドルの使い道についてコピー機、スピーカー、本棚を報告したが、音響係よりスピーカー購入の必要はない(壊れたというのは誤解であった)と申告があり、スピーカーは購入しないことになった。

本棚については、教材室に新たにロッカーが配置(カレッジ側の厚意により)されることになったので、教材室の新しいレイアウトを考えてから購入したい。

コピー機については、既存のコピー機の寿命が近く必要性が高いため、より本格的なコピー機を購入した(\$2300)。また、カレッジ側との交渉の結果、1枚5セントでカレッジのコピー機を借りられるようになった。

余談: 本棚購入、教材室のレイアウト変更に伴って、現在使用中の掃除用具入れの使い方(センター専用にしてもらえるように交渉中)が変わるので、注意してください、と役員から報告有り。

変更内容「箒とちり取りの保管場所は、水場のある保管室に移動」

⑤会計から今年度予算について

現時点で、予算に比べ収入が約2300ドル多い。この分については、以前から余剰金を本の購入に使ってはどうかという意見が多かったことから、児童向けの本(漫画本を含む)や先生向けの本の購入に充てたいと考えている。購入する本の内訳については、さらに先生方の希望をきいて進めたい。これについて保護者に承認をとったところ異論はなく、この予算超過分収入は本の購入に充てることで合意した。

<改善係より報告>

内容については、別紙、改善係り作成の議事録をご覧ください。

<発表会係より>

今年度の発表会は、生徒数の増加により2部制になる。

3月12日リハーサル

センター時間内(10-12時)でリハーサルを終わらせることが難しいため(予想では30分超過)、9時半からリハーサルを始めたい。該当する幼児3と幼児1の生徒は、早めに学校に来る必要があるが、協力をお願いしたい。また中高等部のリハーサル終了時間が若干(~15分程度)遅れ、12時を過ぎる可能性があるため、ご了承ください。

3月19日発表会本番の予定

幼児部発表会は10時始まり、10時55分に終了予定。

幼児3、幼児1、幼児2の順番で発表。

児童1&2の生徒は10時開始の幼児部発表会を鑑賞し*、児童部発表会にて自分のクラスの発表が終了次第、基本的には解散の流れ。席に限りがあるため、幼児クラスに子供のいない児童1&2の保護者は、11時以降の児童クラス発表から鑑賞してほしい。

児童3-中高等部の生徒について

幼児部発表会の間(10時50分までの間)はクラス毎に指定場所にて発表の最終確認などをして待機予定。

保護者は全員講堂近くで待機、ただし講堂内への騒音に配慮し、講堂真横は避け、なるべく離れた場所(ロッカールームに近い場所)で待機してほしい。(児童1と2の保護者は児童部発表会のみ鑑賞)

発表会後の卒業式を含め、1時終了の予定。

尚、当日の集合時間、場所については、担任の先生の指示に従ってください。

上述——*で消した部分について、後日訂正がありましたので、混乱をさけるため、変更内容をここに明記します。

その後調整が入ったため、児童1と児童2の動きが変更になりました。児童1と児童2は幼児部発表会の鑑賞は無しとなり、児童部発表会のみ講堂に入ることになりました。朝は10時に集合し、10時から11時までの間はクラス単位での待機となります。待機場所については後日連絡いたします。
どうぞよろしくお願ひします。

発表会係 大道

<役員より、センター40周年記念について>

来年度、センターは40周年を迎えます。30周年の際は、文集「30年のあゆみ」を発行するなど記念誌を発行しています。40周年を記念するような、良いアイデアがありましたら、役員までお知らせください。

*予定されていた行事報告（子供の日、書き初め、節分）につきましては、時間切れとなりましたので、報告書をお知らせメールに添付することにします。